# **欧州のアーバンガーデン** インフォシリーズ | 1版 言語:日本語 (Japanese) | オンライン発行日:2016年12月1日



#### 課題

欧州の多くの国では、アーバンガーデンに対する需要が増大している。自治体やアーバンガーデンの協会によれば、キャンセル 待ちの名簿にどんどん人の名が連なっており、ガーデニングできる区画を獲得するまで数年待つ場合もある。こうした需要を踏まえ、多くの都市で自治体がアーバンガーデンを都市開発計画に組み込んでいる。こうしたプロセスは都市計画家や建築家、ランドスケープアーキテクトによって支えられている。

都市開発計画を考えるとき、ガーデナーが大きな期待と意欲とともにガーデンに来るのを考慮することが大切である。

さらに、都市の限られた空間を使うことに関するコンフリクトを踏まえれば、都市計画にアーバンガーデンを取り入れるということは、ガーデンの計画やデザインのプロセスにおいて、彼らの意欲が考慮されたときにのみ正当性をもつ。これは都市住民に資する潜在的な機能の幅をガーデンに持たせるということでもある。

そして、既に設立されているアーバンガーデンのなかには完全には有効利用されていない事例もあるかもしれない。意欲を理解することにより、ガーデナーの期待と関連してガーデンの機能と適切性を高められるだろう。

このファクトシートで示したい課題は、ガーデナーの期待と意欲をアーバンガーデンの計画およびデザインプロセスに統合する ことである。



図2 - Pla Buitsガーデン(スペイン、バルセロナ)。写真: Carolina Villar

図3 - ファミリーガーデンの伝統的な配置。 写真: Jeanne Pourias

#### 計画・デザイン実践家に向けたアドバイスノート

意欲というものは時間とともに変わるものであり、個人的な興味や必要性、社会的ステータス、文化的背景、経済危機や人為災害といった国際社会的な変化を含む外的要因に応じて形作られます。

ガーデナーの主たる意欲は以下のようなものです:

#### 食料生産と主権

ガーデナーは自ら生産した、良質で安価な食料を求めています。

「私はお店では自分で作ったようなキャベツを見たことはない! まぁ、たまにあるかもしれないが、それは本当にめずらしい」(フランス・パリのガーデナー)

#### 精神的・身体的な健康

ガーデンは休息し、体を調子よく保つための場所として捉えられています。

「ガーデンは生活の質を高めてくれると思っている。帰宅して、疲れもストレスも溜まった状態のとき、ただ芝生の上に横たわるだけで、全く違う世界を味わうことができる」(ノルウェー・オスロのガーデナー)

## 環境や社会、経済面からの都市生活への貢献

区画は空き地に生命をもたらすためともに行動する源となります。

「ガーデンは都市公園のようにただ瞑想に ふけるような場所ではなく、自分たちで発展 させられる場所である」(スペイン・バルセロ ナのガーデナー

#### 社会文化的な関係を織り成す

ガーデンはコミュニティの絆を強め、近隣住 民の社会的結束を高めると認識されていま す。

「ただ育てるというだけじゃなく、人と触れ合うことでもある…」(フランス・パリのガーデナー)

#### 学び、教え、知識を伝達

ガーデンは社会人口学的そして社会経済的 に異なるプロフィールをもつ人々どうしが、知 識を学び、生み出し、シェアするアリーナになっています。

「豆がどうやってできるのか見せるために、 孫と一緒にここに来ていた」(スペイン・バル セロナのガーデナー

#### レクリエーション、趣味、そして自己実現

ガーデナーは野外に出て、自然に関わり、意味のある余暇時間を過ごして楽しみます。

「ここにいると生きていると感じる。ここでは 生きる価値を感じることができる」(スロバキ ア・ニトラのガーデナー)

### 関連情報

#### 役立つリンク集

http://www.urbanallotments.eu/

#### 参考文献

Calvet-Mir, L., March, H., Nordh, H., Pourias, J., Čakovská, B. Motivations behind urban gardening: "Here I feel alive". In: Bell, S. et al. (2016) Urban Allotment Gardens in Europe. London: Routledge. 320-341

Pourias, J., Aubry, C., & Duchemin, E. (2016). Is food a motivation for urban gardeners? Multifunctionality and the relative importance of the food function in urban collective gardens of Paris and Montreal. Agriculture and Human Values, 33(2), 257-273. http://doi.org/10.1007/s10460-015-9606-y

Camps-Calvet M.,
Langemeyer J., CalvetMir L., Gómez-Baggethun
E., March H. 2015. Sowing
resilience and contestation in
times of crises: The case of
urban gardening movements
in Barcelona. Partecipazione
e Conflitto. The Open Journal
of Sociopolitical Studies 8(2):
417-442



図4 – 生産的なタイプのアロットメントガーデン。写真: Maria Bíhuňová and Barbora Čakovská



図5 – エッタシュタ・アロットメントガーデン(ノルウェー・オスロ)。写真: Helena Nordh

#### デザイナーへのメッセージ

#### デザインプロセスを始める前に…

- デザインと区画の空間的構成は利用の在り方に影響を与えることに留意しましょう。たとえば、私たちはよく正方形や長方形の区画を思い浮かべますが、三角形にすれば、すべての三角形が重なる頂点に共同の小屋や集合場所を設定できるかもしれません。
- ガーデンにガーデナーの様々な意欲を表現できるような可能性を持たせましょう。
- ガーデナーの意欲を理解することは、彼らにとってふさわしいガーデンを生み出し、近隣住民の需要に応えるためにもっとも良い道筋です。
- ガーデンは個々のガーデナーの意欲や、 ガーデナーグループおよび社会の発展に 関する期待に応じて変化することは避け られません。こうした変化を受け入れられ る柔軟性を備える必要があります。

#### デザイナーへのアドバイス

- 積極的にガーデナーをデザインと整備の プロセスに巻き込みましょう。
- 将来的にガーデナーとなり得る人々と知り合いになり、どんな意欲や期待を持っているか聞くとよいでしょう。
- もし誰がガーデナーとなるかわからない 場合には、他のアーバンガーデナーに聞 いてみましょう。
- 異なるタイプのガーデンが世の中にある ことの利点を活用しましょう。できれば海 外の、他の事例からインスピレーションを 得るとよいです。たとえば、区画貸しのも の、共同のもの、社会的なもの、コミュニティのもの、学校のものなど、様々なガーデ ンがあります。

- 異なるタイプの区画を混ぜましょう。色々な大きさの区画があると、栽培技術に長けて大きな区画を使いたい人や、小さい区画で十分だという人など、ガーデンに来る利用者も多様になります。初心者には共同栽培の区画が、初めの何年かガーデニングをしてみるためによい選択肢となるでしょう。そうでない人には個人用区画が好まれるかもしれません。
- ガーデニング以外に使える空間もとって おきましょう。バーベキューやピクニックと いった、共同生活を促すような活動がで きる場所があると望ましいです。
- あまり洗練されたものでなく、シンプルに しましょう。そのうちガーデナー自身がガ ーデンをつくり上げていきます。
- ガーデンが誰にでも使いやすくなるようできるだけ配慮し、ガーデンから特定の人を排除してしまうような障害がどんなものか考えましょう。たとえばレイズドベッドやバリアフリーのトイレはよいアイデアです。

#### 関連情報

#### 事例紹介

ジャルダン・ディ・ボルデは、パリのシャネヴィエレス・サル・マルネ地区に近い、地域公園ラ・プレン・ディ・ボルデの中にある。2004年に設立され、様々な大きさの共同区画と個人区画がある。共同区画では新しく来たガーデナーのトレーニングの場ともなっている。用具入れはガーデナー間でシェアされており、みんなの小屋やテーブル、椅子が設えられ、日陰になる芝生などの交流やイベントのための共用スペースもある。





図6•7 - ジャルダン・ディ・ボルデの図 面と写真。写真: AC Daniel

Jeanne Pourias¹, UMR SAD-APT AgroParisTech – INRA, France
Barbora Čakovská, Slovak University of Agriculture in Nitra, Slovakia
Hug March, Internet Interdisciplinary Institute (IN3), Universitat Oberta de Catalunya, Spain
Helena Nordh, The Norwegian University of Life Sciences, Aas, Norway
Laura Calvet-Mir, IN3, Universitat Oberta de Catalunya | ICTA, Universitat Autònoma de Barcelona, Spain

¹corresponding author: jeanne.pourias@agroparistech.fr
翻訳:新保 奈穂美 (Naomi Shimpo), 筑波大学, shimpo@nenv.jp

インフォシリーズ | 1版 言語:日本語 (JAPANESE) | オンライン発行日:2016年12月1日



COST (European Cooperation in Science and Technology、欧州科学技術研究協力機構)は 欧州全域の政府間で形成されたフレームワークです。 その使命は科学的および技術的な発展により新たな概念や産物をもたらすこと、 それによって欧州における研究および革新の可能性を高めることです。

www.cost.eu



COSTはEUの研究・イノベーション枠組み計画「Horizon2020」に支援されています。



謝辞

このファクトシートはCOSTが支援する「COST Action TU1201 Urban Allotment Garden in European Cities」 の成果にもとづいて作成されました。

www.urbanallotments.eu



「欧州のアーバンガーデン」に参加しましょう:

https://www.facebook.com/groups/825421310826607/